

経済・金融 フラッシュ

宿泊旅行統計調査 2024年4月

～中国人宿泊者数が緩やかに回復。先行きも回復を続ける公算が大きい～

経済研究部 研究員 安田 拓斗

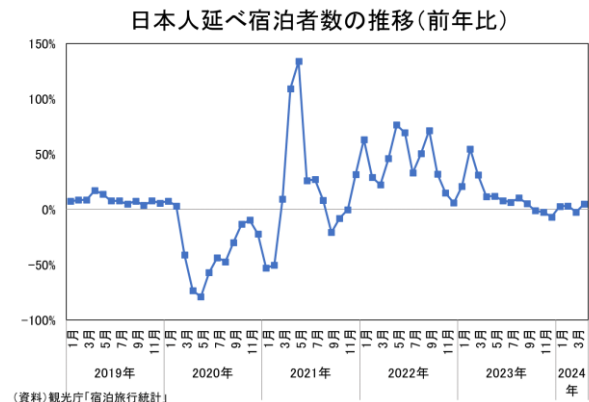
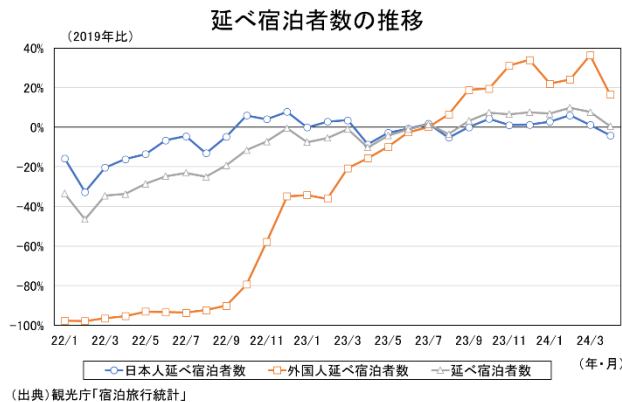
TEL:03-3512-1838 E-mail: t-yasuda@nli-research.co.jp

1. 日本人延べ宿泊者数(2019年比)が7ヵ月ぶりにマイナス

観光庁が5月31日に発表した宿泊旅行統計調査によると、2024年4月の延べ宿泊者数は5,096万人泊(3月:5,511万人泊)となった。前年同月比は11.9%(3月:同8.7%)、新型コロナウイルスの影響が出る前の2019年同月比でみると、0.5%(3月:同7.7%)となった。

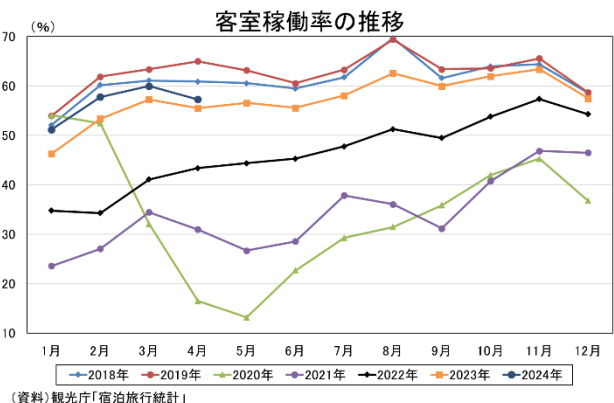
2024年4月の日本人延べ宿泊者数は3,781万人泊(3月:4,213万人泊)となり、前年同月比は5.0%(3月:▲2.3%)と2ヵ月ぶりにプラスとなった。2019年同月比は▲4.1%(3月:同1.2%)とコロナ禍前の水準を8ヵ月ぶりに下回った。日本人延べ宿泊者数は物価高の悪影響を受けて停滞している。

2024年4月の外国人延べ宿泊者数は1,315万人泊(3月:1,298万人泊)となり、2019年同月比は16.5%(3月:同36.4%)と、伸びは前月から鈍化した。



2024年4月の客室稼働率は全体で57.3%(3月:同60.0%)、2019年同月差▲2.7%(3月:同▲3.4%)と、コロナ禍前の水準を下回っているが、2023年4月(55.5%)を上回っている。

宿泊施設タイプ別客室稼働率は、旅館は33.0%、2019年同月差▲6.7%(3月:同▲3.6%)、リゾートホテルは50.5%、2019年同月差▲7.3%(3月:同▲6.8%)、ビジネスホテルは73.7%、2019年同月差▲5.5%(3月:同▲2.6%)、シティホテルは73.1%、2019年同月差▲9.9%(3月:同▲7.7%)、簡易宿所は28.0%、2019年同月差▲7.0%(3月:同▲4.1%)であった。2019年同月差は全てのタイプの宿泊施設でマイナス圏での推移が続いている。



2. 日本人延べ宿泊者数の先行きは横ばい圏内で推移する公算大

都道府県別の延べ宿泊者数の実績は速報より1ヵ月遅れて公表される。能登半島地震の被害を受けた4県について、今回公表された2024年3月の都道府県別延べ宿泊者数をみると、富山県が2019年比15.4%（前年比19.0%）、福井県が同▲13.8%（同16.6%）、新潟県が同▲0.3%（同2.9%）、石川県が同35.4%¹（同46.9%）となった。石川県が大幅に増加しているが、これは2次避難者が含まれているためだと考えられる。2次避難者²は金沢市以南・県外のホテルや旅館に移送されている。

なお、被害が大きかった富山県、福井県、新潟県、石川県を対象として3月から実施されている北陸応援割³は、富山県と福井県では4/26をもって終了している。新潟県、石川県では第二弾としてゴールデンウィーク以降も実施されている。

北陸応援割によって被災地への旅行需要が喚起されたが、日本全体を押し上げている様子は見ることができない。物価高による実質所得の低下やホテル代の高騰などによって日本人の旅行需要は停滞している。先行きも、横ばい圏内で推移する公算が大きい。

北陸応援割の概要

		富山県	福井県	新潟県	石川県
利用期間	第一弾	3/16~4/26			
	第二弾	終了		6/3~7/18	5/7~7/31
割引		50%			
割引上限	1泊	2万円			
	2泊	3万円			
	2県以上	3.5万円			

（注）ビジネス利用は対象外
（資料）各県HPより筆者作成

震災被害を受けた4県の観光データ（2024年3月）

	延べ宿泊者数		客室稼働率		
	2019年比	前年比	2019年差		前年差
富山県	15.4%	19.0%	54.6%	10.1%	9.6%
福井県	▲13.8%	16.6%	45.9%	▲3.4%	1.8%
新潟県	▲0.3%	2.9%	46.0%	1.8%	0.8%
石川県	35.4%	46.9%	72.0%	10.4%	15.3%
全国	7.7%	8.7%	60.0%	▲3.4%	2.7%

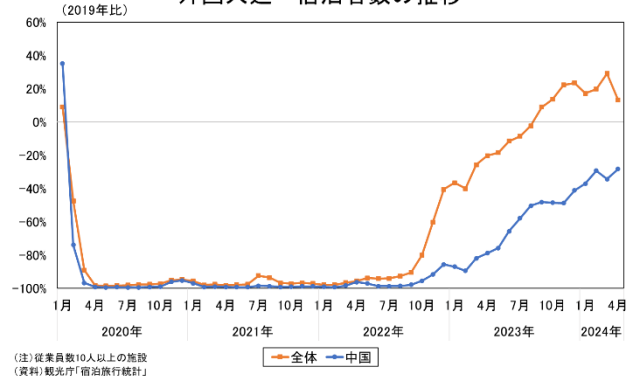
（資料）観光庁「宿泊旅行統計」

3. 中国人延べ宿泊者数は緩やかに回復

外国人宿泊者数のうち、国別が分かる従業者数10人以上の施設でみると、2024年4月の中国人延べ宿泊者数は2019年比▲22.3%（3月：同▲29.4%）と、外国人延べ宿泊者数全体（同25.7%）と比較すると回復が遅れているが、緩やかに持ち直している。回復の遅れの一因には中国国内の不動産市場の低迷による景気下押しの悪影響などから海外旅行へ行く中国人が減少していることがあるが、減少ペースは緩やかとなっている。

中国人宿泊者数の回復には時間がかかっているが、緩やかに回復してきている。先行きも中国人宿泊者数は緩やかに回復を続ける公算が大きい。コロナ禍前に比べて為替レートが円安の水準にあることが追い風となって、外国人延べ宿泊者数は増加を続けるだろう。

外国人延べ宿泊者数の推移



（注）従業員数10人以上の施設
（資料）観光庁「宿泊旅行統計」

¹2024年1-4月調査においては、令和6年能登半島地震の影響により、石川県七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水及び能登町を調査対象から除いているが、影響は軽微と考えられる

²2次避難者数は4月26日時点で2,114人、累計10,647人

³旅行代金の最大50%が割引。上限額は宿泊数や宿泊県数によって上限金額が変わる